

【第7回アフリカ開発会議サイドイベント】

アフリカの開発に果たすスポーツの役割

国際協力機構（JICA）は、8月27日、世界銀行、フランス開発庁（AFD）と、スポーツが開発に果たす役割をテーマにシンポジウムを共催し、150名を超える参加者が来場しました。

開会挨拶では、鈴木スポーツ庁長官より、「人生を変える」「社会を変える」「世界とつながる」「未来を創る」スポーツの力と、100ヶ国以上、1000万人以上を対象にスポーツの価値を届ける「Sport for Tomorrow」事業について紹介されました。

リベリア国務大臣のカプイ氏からは、スポーツは若者にとって成功への切符であり、同国国家開発計画にスポーツが明記されたことが紹介されました。

元女子マラソン世界記録保持者のローラーペ氏は、リオオリンピックでアフリカの女性として走り、難民選手団を率いた経験を踏まえ、スポーツが女性や難民にとってたくさんの可能性の扉を開くということを語りました。

また、シドニーオリンピック女子マラソン金メダリストの高橋氏は、スマイル・アフリカプロジェクトでの靴の寄付の経験から、スポーツを通じて子どもたちが夢や目標を持ち、大人たちもその夢を支えるためにボランティア活動に積極的に参加するようになるなど、人材育成や環境整備にスポーツが果たす役割を強調しました。二人の同時代の世界的女子マラソン選手の力強い発言には会場から拍手が沸き上がりました。

フランス開発庁のアブシ氏からは、官・民・市民社会が連携してスポーツ分野の開発を支援する取り組みが紹介されました。

またJICA加藤理事からは、日本の教育で重視される知育・徳育・体育のうちの一つとしてのスポーツ、社会的統合や女性・障害者の社会参加のツールとしてのスポーツなど、スポーツのもつ幅広い可能性について触れ、JICAが取り組むスポーツと開発取り組みを紹介しました。

最後に世界銀行のガネム副総裁から、人材育成、ジェンダー平等、社会的統合の促進により、スポーツが開発に寄与することを確信したと述べ、会議の締めくくりとなりました。

■本イベントの主な登壇者

■開会挨拶

-鈴木大地 スポーツ庁長官

■パネルディスカッション

<パネリスト>

-Tegla Loroupe テグラ・ローラーペ平和財団 会長（女子マラソン元世界記録保持者）

-高橋尚子 JICA オフィシャルサポーター（シドニー五輪女子マラソン金メダリスト）

-Trokon Kpui Minister of State, Liberia（リベリア国務大臣）

-Laetitia Habchi Agence Française de Développement（フランス開発庁）スポーツと開発アドバイザー

-加藤宏 JICA 理事

<モデレーター>

-Robin Harding フィナンシャルタイムズ 東京支局長

■閉会挨拶

-Hafez Ghanem 世界銀行 アフリカ地域担当副総裁

■写真





■関連する SDGs ゴール :

